

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童通所支援 ミックスベリーONODA		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	R7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の特性に合わせたプログラムが立案されていること。	一人一人の特性や性格を踏まえ、個別支援計画に基づいた、個別療育計画や集団療育プログラムを、職員間で意見交換しながら立案し、日々の支援を行っています。	個々の状況に合わせた運動遊びやSSTの取り組み等、療育における専門性を充実させていきます。 集団活動は「月曜日は運動、火曜日は感覚」など、曜日ごとに固定していたため、次年度より曜日による格差をなくし、偏りなく様々な活動に参加できるよう検討します。
2	新しいことへチャレンジする力があること。	外出活動(公園、スーパー、地域のワークショップ、出前講座、動物園等)や調理体験の他、施設内の構造化の見直し、ロボット療育の導入など、より良い療育を目指した新たな取り組みを積極的に取り入れています。	職員一人ひとりの質の向上を目指し、療育に関する様々な情報を獲得することが出来るよう、他施設への見学・交流や外部研修の機会を予定しています。また職員間で情報共有ができるよう密にMTGを行い、利用児の利益へと繋げていく体制を整えています。
3	医療法人としての強みが活かされていること。	むし歯予防デーなどの行事では、当法人の歯科衛生士が来所し、ビデオ視聴や模型を使った歯磨き指導を行っています。また、歯科用品のサンプル配付を行い、歯磨き意欲の向上と歯の健康増進意識の向上を図っています。	継続的な実施をしていく中で、お子様の健やかな成長を支えるために『お口の健康管理』も療育の中に組み込んでいます。歯科衛生士養成校との連携により、実習生の受け入れの中で利用児のコミュニケーション能力の充実も図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の部屋数が少ないため、用途に合わせたスペースの確保が満足できていないこと。	事業所の構造上、部屋数が少なく、生活空間が狭いこと。	物品の整理や活動に合わせた物品の移動、パーティションで空間を区切るなど、構造化の見直しを継続していきます。
2	学校、幼稚園、保育園などの関係機関との連携や、地域との関わりがあまり持っていないこと。	地域施設への外出活動はあるが、交流等は少ない。情報共有の機会が送迎時でしか確保できていないこと。	地域のイベントに参加するなど地域資源を活用したり、地域の方が参加できるイベントを開催するなど、地域の方々との交流ができる取り組みを検討していきます。 積極的に地域とのつながりや、外部施設(保育園、幼稚園、学校、他事業所など)との情報交換を行う機会を設け、利用児の利益につなげていきます。
3	保護者会等の開催など、保護者同士の交流の場や、きょうだい同士の交流の場を持つなどの支援が出来ていないこと。	実際の療育の提供時間・営業時間との関係により計画・実施までに至る時間がとれていないこと。	次年度より、営業時間の見直し・変更を行うことで、より充実した支援を整えて行ける体制をとれるようにしていきます。